

神経精神

Neuropsychiatry

ユニット責任者：神経精神科学 教授 古茶 大樹

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	神経精神①	10月29日～11月1日	古茶 大樹

1. ユニット概要・学習内容

精神症候学は精神医学の基礎をなすもので、自然科学とは違う、精神医学固有の学問領域である。臨床的によく遭遇する代表的な精神症状を学ぶ。精神医学（精神障害）と身体医学（身体疾患）には本質的な違いがあり、それは分類体系にもよく現れている。精神障害は大きく分けて、身体的基盤が明らかな精神障害、内因性精神障害、疾患ではない精神障害の三つの群に整理することができ、それぞれの代表的な精神障害を学ぶ。また治療学についても総論的内容を学習する。

2. 到達目標

- 1) 意識、自我、知覚、感情、意欲、思考、記憶の定義を説明できる。
- 2) せん妄、幻覚、妄想、抑うつ、健忘など代表的な精神症状を説明できる。
- 3) 精神障害と身体疾患の分類について、本質的な違いがあることを説明できる。
- 4) 精神科治療学の基本的なアプローチ、その理念について説明できる。

3. 学習上の注意点

毎回プリントを用意して講義を進める。パワーポイントは使用しない。できるだけ、わかりやすいように具体的な症例を挙げて説明をするので、予備知識がなくとも理解できるだろう。とくに予習の必要はない。

4. 教科書・参考書

教科書：特になし

参考書：『精神症候学』（弘文堂）・・・（書評）最も詳しい精神症候学の参考書。

精神医学に興味がある人は購入されるとよいだろう。

参考書：『精神医学入門』（南山堂）・・・（書評）わが国で最も歴史のある教科書。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	90 (%)	
授業態度		10 (%)	

当ユニットでは学年末再試験を実施する

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
神経精神科学	教授	古茶 大樹	木曜日 13-17 時	医学部本館 2 階 神経精神科医局	内線 3202 mail:kocha

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略